

令和7年11月7日  
成田市総合教育会議  
【議題3】

# 学校部活動の地域展開

## 事業の進捗と今後の展開について

令和7年11月7日(金)  
成田市総合教育会議





# 第1期モデル事業の展開

令和5年9月～令和6年8月

## 立ち上げ

西中学校拠点  
柔道クラブを開始

## 成果

拠点校部活動として既に  
定着、移行は円滑に実施

## 大会参加

地域クラブとして多くの  
大会に出場

# 第2期モデル事業の展開

令和6年9月～令和7年8月

11

クラブ数 11

各学校で1クラブずつ  
立ち上げ

6

兼職兼業者のクラブ数

平日の部活動指導者が  
継続指導

2

既存のクラブ数

すでに稼働している  
チームを活用

剣道、軟式野球、バスケットボール、柔道、ソフトテニス、  
バレーボール、卓球、吹奏楽など多様な種目で展開

# 第2期の成果と課題

## 主な成果

- 兼職兼業により滞りなく移行
- 教職員の時間確保が実現
- 専門的指導で技術力向上
- 活動環境に大きな変化なし

## 主な課題

- 指導理論の違いや引継ぎの難しさ
- 大会参加に制限が発生
- 将来の生徒数減少への対応不足
- 教員不足への検証が進んでいない



# 第3期モデル事業の新展開

令和7年9月～現在進行中

01

## 拠点統合

市内を4つの拠点に分け、部活動を統合しクラブ化

03

## 種目の選定 (ステップ型中心に)

ステップ型とエキサイト型地域クラブを立ち上げ

- ・ステップ型＝現状部活動の置き換え
- ・エキサイト型＝競技趣向ではない、活動が目的



**最終的なゴール:「やりたいことを、主体的に子ども達が選べる環境づくり」**

02

## 大会参加に向けて

地域クラブとしての大会参加方法を確立

04

## 学区外への移動

徒歩、自転車、公共交通機関、保護者送迎を想定

# 第3期クラブの内訳

令和7年10月末現在



総クラブ数



成田中央地区



成田中央・北部合同



成田北部地区



ニュータウン北地区



ニュータウン南地区



市内1拠点種目



エキサイト型



# 実施にあたっての懸念と対応

1

## 指導者確保について

- ・広報誌、動画配信など多様な媒体で広報活動を実施

2

## 大会参加に向けた資格要件について

- ・学校部活動として大会参加する方式に変更

3

## 移動の問題について

- ・一定数集まれば学校単独でクラブ化する柔軟な対応

# 第3期モデル事業に対する反応

(9月末現在)

## 【指導者の声】

### 成果

- ・指導モチベーション向上
- ・複数指導者で対応可能

## 【保護者の声】

### 成果

- ・専門指導への感謝
- ・他校生徒との交流

### 課題

- ・送迎の負担

## 【生徒の声】

### 成果

- ・目標達成に向けた練習
- ・成長を実感
- ・楽しい活動

### 課題

- ・もっと多くの生徒と練習したい



# 令和8年4月以降の運営計画



**運営母体** 事業の内、クラブ運営を自走  
一般社団法人など(プロポーザルで決定予定)



**クラブ数** 学校を拠点とした運営  
ステップ型102クラブ、エキサイト型4クラブ



**指導者配置**  
各クラブ原則2名(報酬:1時間1,800円)



**受益者負担**  
月額3,500円、年会費5,000円



- ・1年生の4月分は体験期間として月額支払い免除
- ・3年生は希望により7月以降も継続して活動可能

# 令和8年4月以降の運営計画



## 令和8年度実施する予定の地域クラブ

※生徒数は令和7年5月末現在

資料 1

	性別	学年	成田中央		成田北部			成田ニュータウン南		成田ニュータウン北		
			成田	遠山	久住	大栄 みらい	下総 みどり	西	公津 の村	吾妻	玉造	中台
陸上	男	1年	10	3	11	1	7					2
		2年	10	10	12	2	4					7
ソフト テニス	女	1年	2	1	12	14	斜線	11	8	17	斜線	6
		2年	1	1	11	9	斜線	9	10	9	斜線	9
軟式野球	男	1年	7	19	7	6	斜線	20	12	6	10	7
		2年	13	5	4	5	斜線	2	15	6	1	2
	女	1年	1	0	4	斜線	12					
		2年	0	0	5	斜線	3					
		1年	6	2	0	斜線	0					
		2年	0	0	0	斜線	0	1	0	0	斜線	
		1年	6	2	1	斜線	1	5	斜線	8	斜線	

みどり枠  
学校単独でクラブ化

斜線  
学校で部活動が立ち  
上がっていない種目

赤枠  
隣接校と合同でクラブ化

メリット  
必要以上に移動が生じ  
ない  
部活動と大きく環境が  
変わらない

デメリット  
多くの指導者が必要と  
なる

# 令和8年4月以降の運営計画



**運営母体** 事業の内、クラブ運営を自走  
一般社団法人など(プロポーザルで決定予定)



**クラブ数** 学校を拠点とした運営  
ステップ型102クラブ、エキサイト型4クラブ



**指導者配置**  
各クラブ原則2名 (**報酬:1時間1,800円**)



**受益者負担**  
**月額3,500円、年会費5,000円**



- ・1年生の4月分は体験期間として月額支払い免除
- ・3年生は希望により7月以降も継続して活動可能



# 今後の課題と展望

## 4月実施への対応

- 総合体育大会に向け、部活動顧問の関与と報償費支払いを協議。
- 2・3年生の4月分の月謝負担を協議

1

## 困窮世帯への支援

- 運営母体傘下の地域クラブに所属する困窮世帯への補助を協議

2

## 運営団体との関係

- 次年度以降も成田市「部活動の地域展開」に関する協議会で決定した、運営方針に従い、毎年度見直しを図りながら実施するよう協定の締結を計画

3